

# 秋季特別展 祇園南海とその時代

平成23年10月22日(土)～11月27日(日)

祇園南海(1676～1751)は、江戸時代中期の紀州藩の儒官で、優れた詩文の大家として、また日本の文人画の先駆者として知られています。

紀州藩医の家に生まれた彼は、幼少より詩文の才能を開花させ、朝鮮通信使との詩文唱和の任にあたるなど、その腕前を發揮しました。また《詩画一致》の思想を打ち立て、高度な教養に裏打ちされた数多くの書画をのこしています。展覧会では、初公開作品を含む南海の作品と関係資料あわせて約100点を展観し、彼の残した足跡をたどります。また、朝鮮通信使関係資料や柳澤淇園などの南海と同時代に活躍した画家たちの作品もあわせて展示します。

◆25年ぶりの祇園南海の特別展

◆祇園南海の作品と関係資料、約100点を一堂に紹介(重要文化財3点含む)

◆初公開作品・新出資料も多数

※会期中、展示替があります。

【開館時間】午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)

【休館日】毎週月曜日、11月4日(金)、24日(木)

【会場】和歌山市立博物館 2階 特別展示室

〒640-8222 和歌山市湊本町3丁目2番地

電話:073-423-0003 FAX:073-432-9040

【主催】和歌山市立博物館

【入館料】一般500円、大高生300円、中小生150円

※市内小中高生は毎土曜日無料。

※和歌山市老人優待利用券をご提示の方は、本人のみ無料。

※20名以上団体2割引。

※11月19日(土)、20日(日)は、「関西文化の日」にちなみ無料。

【特別講演会】いずれも午後1時30分から、博物館2階講義室にて

10月23日(日)「もし祇園南海が昭和51年生まれだったら」

杉下 元明氏(海陽中等教育学校教諭)

11月13日(日)「祇園南海の芸術世界」

近藤 壮(当館学芸員)

【ミュージアムトーク】いずれも午後1時30分から

11月3日(木・祝)、23日(水・祝)

【お問合せ】担当:近藤 壮(TEL 073-423-0003)

hakubutsukan@city.wakayama.lg.jp

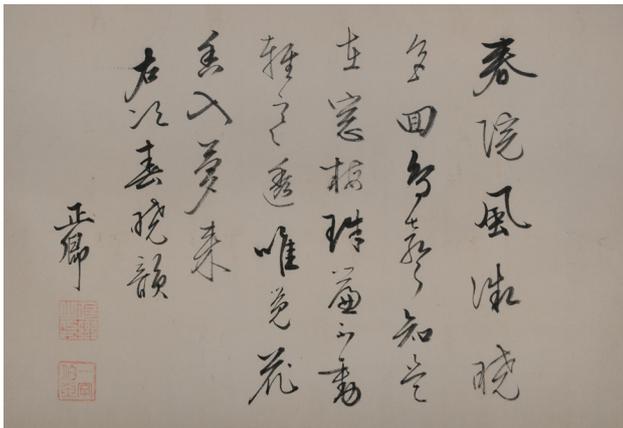


祇園南海《墨梅図》江戸時代中期・個人蔵

和歌山市立博物館

第Ⅰ章 木門の俊秀・南海

◆南海唯一の重要文化財!



祇園南海《七絶詩書》（《木下順庵門下合装軸》のうち）

江戸時代中期・滋賀県長浜市 芳洲会蔵 **（重要文化財）**

第Ⅱ章 朝鮮通信使をめぐる

◆南海が接待役をつとめた  
朝鮮通信使の正使船・見参!



《朝鮮通信使御楼船図屏風》（部分）正徳元年（1711）

（辛基秀コレクション）・大阪文化財研究所蔵

第Ⅲ章 南海の芸術世界

◆中国・文人世界への憧れ（南海の中国画学習のあとがよくわかる?!）



祇園南海《天台石橋図》江戸時代中期・個人蔵



伝唐寅《山水図巻》中国・明～清時代・個人蔵



祇園南海《陳搏図》（「泉石清縁帖」のうち）  
江戸時代中期・静嘉堂文庫美術館蔵



王圻《三才図会》  
中国・明時代・万暦35年（1607）  
大阪天満宮蔵



**（初公開）** 祇園南海《七絶詩書》江戸時代中期・個人蔵



方千魯《方氏墨譜》  
中国・明時代・万暦17年（1589）  
関西大学図書館蔵

◆初公開作品が多数



(初公開) 祇園南海《墨梅図》 個人蔵



(初公開) 祇園南海《春景山水図》 個人蔵

◆書の代表作  
《詩書屏風》



祇園南海《詩書屏風》(部分)

江戸時代中期・了法寺蔵

◆南海の珍しい花鳥画  
《梅花黄鳥図》



祇園南海《梅花黄鳥図》

江戸時代中期・個人蔵

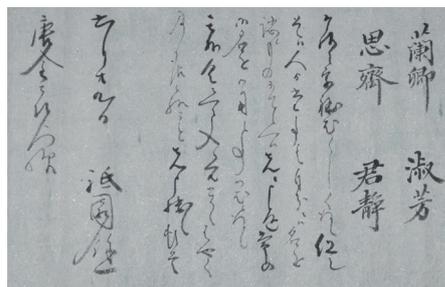
第IV章 南海をめぐる人々

◆近世初期文人画家のひとり  
柳澤淇園の名品《関羽像》



柳澤淇園《関羽像》江戸時代中期・個人蔵

◆新出資料！  
《唐金梅所あて祇園南海書状》

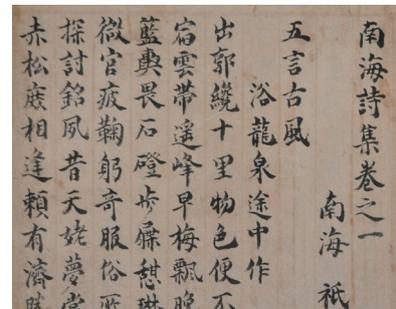


(初公開) 《唐金梅所あて祇園南海書状》

江戸時代中期・蓮昇寺蔵

第V章 著作と関係資料

◆南海自筆の詩文集



祇園南海《南海詩集》(自筆本)(部分) 個人蔵

◆南海所用・自作の尺八



祇園南海所用《尺八・銘「白玉」》 個人蔵

<お問い合わせ>

担当:近藤 壮 Tel: 073-423-0003 Fax: 073-432-9040 E-mail: hakubutsukan@city.wakayama.lg.jp  
Web: www.wakayama-city-museum.jp 640-8222 和歌山県和歌山市湊本町3-2 和歌山市立博物館